

平成 25 年度

学 校 評 価

<記入上の留意点>

- 評価Ⅰは教職員、評価Ⅱは校園長、評価Ⅲ・評価Ⅳは学校関係者評価委員の評価を記入する。
- 評価Ⅰは小数第一位まで記入する。評価Ⅱは4段階を基本とするが、0.5刻みまでを許容とする。、評価ⅣはABCDで記入する。
- 学校の実態に応じて評価内容を追加して設定することができる。

尼崎市立 尼崎 高等学校

平成25年度 学校評価 結果

【学校経営の方針】

平成26年2月5日

優れた伝統を継承しつつ、一人ひとりの生徒を大切に、充実した学習活動を生き生きと展開し、自主自立の精神に富んだ心豊かでたくましい人間形成を目指す。
また、学校・家庭・地域と密接な連携により、生徒の希望進路実現を図り、信頼される学校づくりを推進する。

【育成する生徒像】

文武両道の校風の中で、規律ある学校生活を送り、自己の特長を発見し、伸長する。

真理を愛し、人間を尊重する精神を培い、身体を鍛える。(知徳体の調和的発達を図る。)

評価ⅠⅡの値は下表の通り。(単純平均は2.5となる。)

【25年度の教育目標】

- 1 基礎学力及び運動技能の向上を図る。
- 2 開かれた学校づくりを推進する。
- 3 風通しの良い学校づくりを行う。

4	良くできている
3	できている
2	できていない
1	全くできていない
0	わからない

学校教育に関する重点取組

1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1) 授業の改善に取り組み、学力向上を推進したか	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な補習や早期学習を継続して実施することにより、理解の定着を図った。 ・定期考査の成績を分析し、習熟度別クラス編成の効果的な実施を図った。 ・全職員による中学校訪問を実施し、学校ビジョン意識の醸成を図った。 ・シラバスを作成し、より計画的および系統的な授業の展開に努めた。 ・教育課程委員会等で、生徒の現状を踏まえたカリキュラムを検討した。 ・読書、漢字テストの継続により、活字に慣れ、意欲を高める取組を行う。 ・長期休業中の補習等に、卒業生が参加し、生徒の学力向上への取組を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の学力向上事業を受けて、補習の充実や他校訪問を行い、指導力の向上を行った。 ・教職員の授業力向上が課題である。 ・各教員が中学校を訪問することによって実態を把握できた。 ・教科担当者によって指導力や熱意に違いがある。 ・3年間を見通した計画的な取組に課題がある。 ・視点を変えた取組ができたが、生徒の実態にも基づいたきめ細かな指導に課題がある。 ・長期休業中の補習等に、卒業生が参加し、生徒の学力向上への取組を行った。 ・発展補習への参加生徒数が維持出来ている。 ・部活動と補習の二者選択を生徒にさせることに対して課題が残る。 	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上事業を計画的に行う。 ・計画的な研究授業を行い、その指導案等の検証を行うことにより、よりよい授業の実施に向けて学校全体で取り組む。 ・実力テスト等の結果を踏まえ、生徒の実態に即した効果的な対策を教科会や学年会で行う。 ・特別支援教育の研修を計画的に実施し、特別支援教育を必要とする生徒への理解を促進する。 ・今年度初めて作成したシラバスを見直し、より実用性の高いものを作成する。
(2) 校種間の連携に取り組み、滑らかな成長を推進したか	2.5				
(3) 特別支援教育の充実に取り組み、自立や社会参加に向けた主体性を育成したか	2.5				
(A) 全科目シラバスを作成し、計画的な授業展開と評価ができていますか	3.5				
(B) 一般的に習熟度別授業やチームティーチングを有効に実施しているか	3.0				
(C) 各教員は教材研究や授業見学を充実させているか	3.0				
(D) 生徒の興味や意欲を高める授業ができていますか	3.0				
(E) 個々の生徒の実態に基づいたきめ細かな指導ができていますか	3.0				
(F) 教育課程の見直しや工夫を行っているか	3.5				
(G) 教育活動を通じて、生徒の基礎学力や運動技能の向上を図れたか	3.5				

2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1) 道徳性の涵養に取り組み、良好な人間関係づくりに努めたか	3.0	・いじめアンケートを実施し、実態把握に努め、生徒一人ひとりをしっかり見つめる指導の充実を図った。	・いじめアンケートの実施により、一定、生徒の実態把握を行うことができた。	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 報告、連絡、相談の基本機能の重要性認識の更なる深化を図り、組織としての生徒指導力を増進する。 いじめ防止や体罰禁止対の重要性について、生徒及び教職員の共通理解を一層深化させていく。 問題行動を取った生徒への計画的、組織的な指導を行う。 人権学習の内容を見直し、生徒の実態に応じた道徳性の涵養に重きを置いた取組を行っていく。 生徒アンケートの充実を図る。
(2) 基本的生活習慣の確立に取り組み、問題行動の未然防止を図ったか	3.0	・カウンセリング委員会を定期的に実施し、生徒情報の共有化を図った。	・進化する情報機器や変化の激しい情報社会への対応が迫られている。		
(3) 相談体制の充実に取り組み、不適応行動への早期対応及び長期欠席の抑止を図ったか	3.0	・進路ガイダンスを実施し、生徒の進路意識の啓蒙を図り、進路面接指導や就職指導の充実に努めた。	・進路指導部によるきめ細かなデータ分析が、担任の円滑な進路指導に繋がっている。		
(4) 進路指導の充実に取り組み、社会的自立に必要な能力を育成したか	3.5	・二者、三者面談を実施し、一人ひとりの生徒の課題把握と解決策のアドバイスに努めた。	・課題のある生徒についての情報が共有できているが、外部カウンセラーの効果的な活用等により、きめ細かな指導が必要である。		
(A) いじめや体罰の根絶に向けて取り組んでいるか	3.5	・成績報告会の実施により、課題と情報の共有化に努めた。			
(B) 生徒の自己肯定感を育む教育活動ができていますか	3.0	・生徒、保護者との連絡を密にし、家庭の経済状況と生徒の進路希望、学習状況についての情報収集によりアドバイスを行った。			
(C) キャリア教育の充実と希望進路の実現に向けた支援ができていますか	3.0	・適宜、学年集会を実施し、学年会により情報交換を行った。			
(E) カウンセリング委員会など、特別に支援を必要とする生徒のサポートが組織的にできていますか	3.0				

3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1) 食育を通じた生活改善に取り組み、望ましい生活習慣を育成しているか	2.5	・保健だよりの定期的な発行により、健康管理や健康増進意識の向上に努めた。	・心因的な理由で授業に出られない生徒への対応に課題がある。	3.2	<ul style="list-style-type: none"> 食育教育等、学校全体で組織的に取り組む。 保健部主催による職員研修会を実施する。 カウンセリング委員会や特別支援委員会の情報の共有化を推進する。
(2) 体育・スポーツ活動の充実に取り組み、体力・運動能力の向上に努めているか	3.0	・授業等における食育を通して、家庭でも実践できるような取組を行った。	・規則正しい生活に心掛ける生徒が多く、生徒の健康管理への意識はおおむね高くなっている。		
(3) 定期的な安全点検と問題点の改善ができていますか	3.0		・食育への取組が一部の教員による限定されたものになっている。		

4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1) 安全教育の充実に取り組み、登下校及び校内の安全確保に努めているか	3.0	・安全衛生委員会を定期的に行い、危機管理意識の推進を図った。	・自転車マナーの向上は見られるが、携帯電話を使用しながらの自転車走行や傘さし運転等に課題が見られる生徒がいる。	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全の更なる充実と自転車マナーの徹底を図る。 防災安全教育の充実と徹底を図っていく。 安全衛生に関する教職員の意識改革を推進する。
(2) 防災教育の充実に取り組み、危機管理能力の向上に努めているか	3.0	・避難訓練、救命救急講習会を実施した。	・安全衛生委員会の取組により、職場環境の改善が見られたが、十分とは言えない。		
(A) 安全衛生委員会が機能し、職場環境の向上が見られるか	3.0	・教職員間の情報収集とその改善に努めた。	・部活動や勉強で遅い時刻に下校する生徒の安全確保に課題がある。		

5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校づくりに取り組む

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1) 地域資源の活用に取り組み、開かれた学校園づくりに努めているか	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭や文化祭を近隣住民へも公開し、学校の取組の一端を知ってもらうように努めた。また、創立100周年記念行事を通して、学校の存在やその価値を広くアピールすることに努めた。 ・吹奏楽部等による地域フェスティバルへの参加や地域の文化祭等のポスター制作など、地域行事へ積極的に協力した。 ・オープンハイスクールの充実に努めた。 ・ホームページの更新を適宜行って、情報発信に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・100周年記念行事を、卒業生や保護者、地域の方と共に実施できた。 ・学校行事を通して保護者や地域の方と実りある交流ができた。また、体育祭は年々見学者が増加し盛況である。 ・教職員間の情報交換が十分でない。 ・学校評議員会で出された意見を学校運営に反映できた所がある。 	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への情報発信の重要性や地域からの理解・支持されることの大切さを全職員が共通認識して個々の学校行事に取り組んでいく。 ・生徒による授業評価を共通の形で実施する方向で検討する。 ・学校ホームページを適宜更新し、内容を充実させていく。 ・保護者アンケートの充実を図る。
(2) 学校評価の活用に取り組み、学校運営の改善を図っているか	3.0				
(3) 教職員の資質向上に取り組み、学校の組織力向上に努めているか	3.0				
(A) オープンハイスクールや中学校訪問等において適切な情報公開ができていますか	3.5				
(B) 学年通信や学校ホームページ等で、学校の情報を適切に発信しているか	3.0				
(C) 学校評議員の有用な意見を取り入れた学校運営ができていますか	3.0				
(E) 保護者面談の実施時期、回数、内容は適切に行われているか	3.0				
(F) 学校行事や部活動等で地域との積極的な交流を行っているか	3.5				
(G) 生徒や保護者の意識調査を行い、学校運営に反映させているか	3.0				
(H) 職員間の情報交換が円滑に行われているか	3.0				

教育目標

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1) 教育目標の達成に向けた充実した教育活動の展開をしているか	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期及び2学期に人権学習を行って人権意識の高揚を図った。 ・職員会議等の定例会議により、教職員間の情報の共有化を図った。 ・ビジョン会議を実施して、意見の言いやすい雰囲気作りに努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョン会議を定例化する必要がある。 ・教育目標への理解及び達成へに向けた取組に個人差がある。 ・日々の教育活動に、教育目標を反映させなければならない。 	2.9	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョン会議をより一層活性化させる。 ・学校教育目標について、一定の共通理解を図ると共に、その実現に向けた具体策を、学年・部単位で立案実行する。
(2) 教育目標の具現化と指導の充実をしているか	3.0				
(A) ビジョン会議の設定など、新たな教育目標設定に向けた取組がなされているか	3.0				

研究テーマ

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
(1) 研究テーマの達成に向けた充実した教育活動の展開	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の授業力向上のための公開授業の実施。 ・新着任の研究授業の実施。 ・異校種交流による研究協議の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業の必要性への理解に個人差がある。 ・研究テーマを意識した教育活動に課題がある。 	2.7	<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業を活性化させ、研究協議の時間を持つことにより、授業力の向上を図っていく。 ・他校視察の情報の共有を効果的に実施する。
(2) 研究テーマの具現化と指導の充実	3.0				

学校関係者評価

※ 評価Ⅲの基準

4:よく取り組んでおり、成果が大きい
2:取り組んでいるが成果が十分でない

3:熱心に取り組んでおり、今後の期待できる
1:取組が不十分である

学校関係者意見等	評価Ⅲ	学校関係者意見等	評価Ⅲ
<p>1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力の低い生徒への計画的な補習も必要である。 ・教師による指導力の差があると思われるので教え方等の情報交換が必要である。 ・授業改善への認識について、生徒側と学校側で温度差が気になる。今後の取組を期待する。 ・生徒の進路を確たるものにするために、教員の更なる研修・資質向上が求められる。 ・計画的な補習等、授業外での継続指導がなされ、生徒アンケートに反映している点が評価できる。 ・計画的できめ細かな取組が、活気のある学校づくりに繋がり、生徒の満足度も上げている。 ・学力の低い生徒への計画的な補習も必要である。 	3.2	<p>5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念行事への地域の人々の関心が少なかったため、日頃からのアピールが必要である。 ・吹奏楽部の地域貢献度は高いが、なかなか市尼へ繋がらないようである。 ・地域との連携が課題である。 ・創立100周年行事の盛会により、多くの地域、卒業生、保護者に市尼が理解されたと考えられる。今後とも地域と連携し、地域も高校もよくなる取組を継続してもらいたい。 ・保護者の学校への信頼度が高いのは、家庭・地域との連携への働きかけの努力の賜である。 	3.1
<p>2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外内におけるいじめ等が絶対に起きないように、継続した取組が必要である。 ・いじめアンケートにより、実態を教員が理解する取組の定期的な実施が望まれる。 ・組織間での連携を強め、生徒指導力の更なる向上を図って頂きたい。 ・様々な取組により、マナーのよい心豊かな生徒づくりに成果を上げている。 	3.1	<p>■教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南旨高校との交流があり、人権学習にも繋がっていて、いい環境にあると思われる。 ・更なる取組を願う。 ・教育目標達成に向けて、ビジョンを考え、アクションに繋げる取組を行っており、この活動を続けていただきたい。 ・文武両道の校風に共感し、自分の意志で入学してきた生徒が生き生きと生活している様子がうかがえる。 	3
<p>3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育が難しいが、校内研修で意識を高める必要がある。 ・保健だよりの定期的な発行により、生徒の健康管理意識は高まっている。 ・心因的な理由で授業に参加できない生徒に対しては、より組織的に取り組んでいただきたい。 	3.2	<p>■研究テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長による授業参観は画期的で、教員の意識や授業内容の向上により、生徒の学力アップになっていく。 ・公開授業への取組は、教員間の温度差が大きく、強制的でなく、自発的な取組になることが望ましい。教員によって様々な意見があると思うが、計画的・継続的に授業改善の取組は続けて頂きたい。 	3
<p>4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨天時のカッパ着用等の自転車マナーは向上してきたが、ライト点灯に課題がある。 ・最近よく言われている減災の観点も取り上げることが必要である。 ・傘さし運転の解消など、自転車マナーは大きく向上したと思われるが、全生徒が守れることを目標として精力的な指導をお願いする。 ・安全衛生委員会の取組は今後とも粘り強く推し進めて頂きたい。 	2.9	<p>■その他</p> <p>学区拡大に向けての校内取組が見えていない。早急な取組を。</p>	
<p>評価項目 (A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善)</p>	評価Ⅳ		
<p>アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か</p>	B		
<p>自己評価の結果の内容は適切か</p>	B		
<p>自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か</p>	B		